

OXIDE

株式会社オキサイド


2023年2月期第3四半期 決算補足説明資料

(6521 東証グロース)

2023年1月13日

2023年2月期 第3四半期決算

- ・業績
- ・今期これまでのトピックス
- ・事業別説明
- ・今期計画に対する進捗



本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。
実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。
当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。
本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

- ・ **業績**
- ・ 今期これまでのトピックス
- ・ 事業別説明
- ・ 今期計画に対する進捗

2023年2月期 第3四半期累計期間の決算について、ご説明させていただきます。

続いて、今期これまでのトピックス、事業別説明、今期計画に対する進捗を、ご説明させていただきます。

3Q 業績および進捗率（前回予想（10/14公表）比）

OXIDE

（単位：百万円）

	22/2期 3Q累計	23/2期			23/2期 3Q累計	前年 同期比	前回予想 (10/14)	前回予想 に対する 進捗率
		23/2期 1Q	23/2期 2Q	23/2期 3Q				
売上高	3,572	1,419	1,541	1,459	4,421	123.7%	6,339	69.7%
売上総利益	1,219	703	638	460	1,802	147.8%	2,546	70.8%
販管費	724	378	418	507	1,303	180.0%	1,646	79.2%
うち研究開発費	228	134	182	202	519	227.1%	715	72.7%
営業利益	495	324	220	-46	498	100.6%	900	55.4%
営業外損益	3	28	12	0	41	1,216.6%	30	-
経常利益	499	353	233	-46	540	108.2%	930	58.1%
減価償却費合計	194	74	86	93	255	131.1%	371	68.9%

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

4

このスライドでは、第3四半期決算と、前回10月14日に開示いたしました通期業績予想に対する進捗率についてご説明いたします。

売上高は、前年同期比123.7%となりました。

前回予想に対する進捗率は69.7%です。

営業利益は、前年同期比100.6%となりました。

前回予想に対する進捗率は55.4%です。

経常利益は、前年同期比108.2%となりました。

前回予想に対する進捗率は58.1%です。

この第3四半期は、残念ながら、計画した売上高を達成することができず、また、損益では四半期ベースでは2021年2月期第2四半期以来の赤字となりました。このため昨年10月発表の通期業績予想を達成することが困難な状況となりました。

業績動向に影響を及ぼした要因

OXIDE



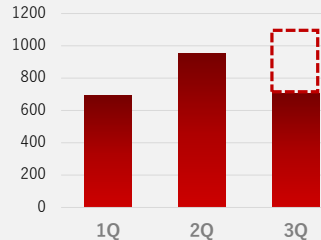
半導体事業

要因

海外から調達する
一部部材の合格率
一時的に大幅低下

半導体事業の売上高

(百万円)



部材不具合への 取り組み

暫定対策

部材の発注数量を増加し4Qの部材確保

恒久対策

部材供給元と共同で原因究明と再発防止

調達体制の見直し

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

5

第3四半期の業績未達の主要因は、半導体事業におきまして、海外から調達している最先端の一部部材に不具合が多発したことです。

具体的には、一部部材の合格率が一時点において大幅に低下しました。これにより、レーザ装置の生産量が一時的に落ち込みました。その結果、第3四半期における半導体事業の売上高は、計画を約4億円下回りました。

現時点では、調達部材の合格率は回復基調にありますが、残念ながら一時的な不具合多発の原因を解明するまでには至っておりません。このため、暫定対策として、部材の発注数量を増やすことで第4四半期計画分の部材確保を見込んでおります。

恒久対策としては、部品製造元と共同で原因究明と再発防止に向けて取り組むと共に、調達体制を強化しております。その結果、レーザ装置の生産は計画並みの水準に復帰しつつありますが、第3四半期計画の未達分すべてを第4四半期計画に上積みすることは困難な状況にあります。

このため、今期計画していた売上高の一部は来期に持ち越し見通しです。

以上により、大変遺憾ではございますが、10月14日に公表しました通期業績予想を下方修正することといたしました。

2023年2月期 通期業績予想の下方修正

OXIDE

(単位：百万円)

	前回予想 (10/14)	今回予想 (1/13)	増減率
売上高	6,339	5,870	-7.4%
売上総利益	2,546	2,210	-13.2%
販管費	1,646	1,692	2.8%
うち研究開発費	715	682	-4.6%
営業利益	900	516	-42.7%
営業外損益	30	34	13.3%
経常利益	930	550	-40.9%
減価償却費合計	371	371	0.0%

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

6

今回公表いたしました通期業績予想についてご説明いたします。

売上高については、半導体事業の一部売上を来期に持ち越すことにより、前回予想63億3,900万円から58億7,000万円へ7.4%の減少を見込んでおります。

また、第4四半期においては、レーザ装置出荷台数の計画達成を最優先とし、開発人員の一部を製造にシフトし生産投入数を増加させています。

これにより、レーザ関連の研究開発の一部が来期に持ち越されますので、研究開発費につきましては、7億1,500万円から6億8,200万円へ4.6%の減額となる見通しです。

営業利益につきましては、前回予想数値9億円を42.7%下回る5億1,600万円を見込んでおります。これは売上高の減少に伴う利益減の約3億3,000万円、部材不良による良品選別など製造費用増の約1億円、研究開発費の来期持ち越しの3,300万円を総合的に勘案したものです。

経常利益につきましては、前回予想9億3,000万円を40.9%下回る5億5,000万円を見込んでおります。

3Q 業績および進捗率（今回予想（1/13公表）比）

OXIDE

（単位：百万円）

	22/2期 3Q累計	23/2期			23/2期 3Q累計	前年 同期比	今回予想 (1/13)	今回予想 に対する 進捗率
		1Q	2Q	3Q				
売上高	3,572	1,419	1,541	1,459	4,421	123.7%	5,870	75.3%
売上総利益	1,219	703	638	460	1,802	147.8%	2,210	81.6%
販管費	724	378	418	507	1,303	180.0%	1,692	77.0%
うち研究開発費	228	134	182	202	519	227.1%	682	76.2%
営業利益	495	324	220	-46	498	100.6%	516	96.7%
営業外損益	3	28	12	0	41	1,216.6%	34	-
経常利益	499	353	233	-46	540	108.2%	550	98.2%
減価償却費合計	194	74	86	93	255	131.1%	371	68.9%

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

7

それでは、改めて第3四半期の決算を、ご説明させていただきます。

第3四半期累計期間の売上高は、44億2,100万円でございます。

これは、前年同期比123.7%、今回予想に対する進捗率は、75.3%となります。

営業利益は、4億9,800万円でございます。

これは、前年同期比100.6%、今回予想に対する進捗率は、96.7%となります。

経常利益は、5億4,000万円でございます。

これは、前年同期比108.2%、今回予想に対する進捗率は、98.2%となります。

今回予想に対する営業利益と経常利益の進捗率が高水準でありますのは、第4四半期の利益が、第3四半期の赤字から黒字転換する見通しであるものの、低水準と見込んでいるためです。半導体事業での部材コストの増加がその一番の要因です。

- ・ 業績
- ・ **今期これまでのトピックス**
- ・ 事業別説明
- ・ 今期計画に対する進捗

続きまして、今期これまでのトピックスについて、ご説明いたします。

今期これまでのトピックス

OXIDE

2022年	5月18日	LQUOM 株式会社との資本業務提携についての開示	1Q
	5月27日	第22回定時株主総会	
	8月 1日	組織変更(量子・通信センター、新事業推進室の新設)	2Q
	9月 9日	LQUOM 株式会社・横浜国立大学と共に「大学発ベンチャー表彰」でアーリーエッジ賞受賞についての開示	3Q
	10月26日 ~28日	第3回 量子コンピューティングEXPOに出展	
	11月 2日	日本結晶成長学会技術賞受賞についての開示	
	11月14日	インフレに対応した従業員の賃上げ実施についての開示	
	12月14日	株式分割についての開示	
2023年	1月11日	第9回「ものづくり日本大賞」で優秀賞受賞についての開示	4Q
	1月13日	Raicol Crystals Ltd.社の株式取得（子会社化）についての開示	

9月にLQUOM株式会社および横浜国立大学と共に「大学発ベンチャー表彰」を受賞しました。

10月に量子コンピューティングEXPOに出展いたしました。

11月に日本結晶成長学会より技術賞をいただきました。

12月より、インフレに対応した従業員の賃上げを実施しました。

同じく12月に、株式分割を取締役会決議し開示いたしました。

1月13日にライコル社子会社化について開示いたしました。

こちらにつきましては、決算説明の後にご説明させていただきます。

第3回 量子コンピューティングEXPOに出展

OXIDE

オキシドの単結晶育成技術・波長変換技術を活かした量子分野での活用が期待される製品を展示。

量子メモリ用結晶

波長変換素子



3社共同出展

OXIDE LQUOM RAICOL
Quantum Communication CRYSTALS

展示会概要

イベント総称：Next Tech Week 2022【秋】

展示会名：第3回 量子コンピューティングEXPO【秋】

日時：2022.10.26～10.28

場所：幕張メッセ

来場者数：約 34,000人（イベント全体）



量子技術関連の展示会への出展と日本結晶成長学会技術賞の受賞についてご説明いたします。

10月末に、幕張メッセにて開催されました「量子コンピューティングEXPO」に出展いたしました。

こちらの展示会は、量子分野に興味を持つ国内の多くの研究者やエンジニアが集結する重要な展示会と位置付けております。量子暗号通信や量子コンピューティングなどの研究開発に携わる多くの方々から、お問合せをいただきました。



第29回 日本結晶成長学会技術賞*を当社社員が受賞しました。

受賞題目 「最先端 PET 用 LGSO 単結晶の量産技術の確立」

受賞理由 LGSOシンチレータ単結晶育成において、結晶育成シミュレーションを活用した炉構造等の育成条件の最適化を進め、割れの無い大型単結晶を再現良く育成することに成功しました。同時に、性能の大幅な向上も実現しました。

*「技術賞」は、実際の結晶成長に従事し、結晶成長技術の進展に功績のある者に授与されます。



参照:日本結晶成長学会HP

次に、日本結晶成長学会技術賞の受賞についてご説明いたします。

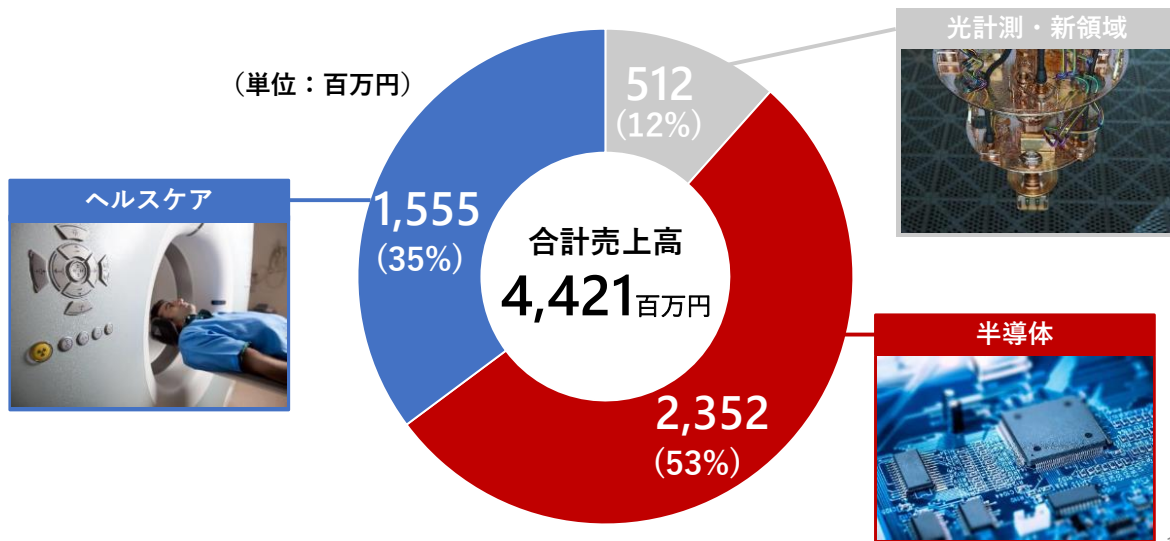
今回の受賞は、当社ヘルスケア事業で製造しているシンチレータ単結晶に関するものです。受賞題目は、「最先端PET用LGSO単結晶の量産技術の確立」です。

2015年に日立化成から事業を譲り受けたLGSOシンチレータ単結晶事業において、製造歩留まりの改善と大幅な性能向上を実現したことが高く評価されました。

- ・ 業績
- ・ 今期これまでのトピックス
- ・ **事業別説明**
- ・ 今期計画に対する進捗

ここから先は、事業別の売上高および進捗率について、ご説明させていただきます。

事業別売上高構成 3Q累計



事業別売上高の構成比率は、光計測・新領域事業が12%、半導体事業が53%、ヘルスケア事業が35%、となりました。

事業別説明【光計測・新領域】

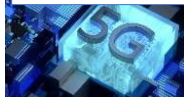
OXIDE

(単位：百万円)

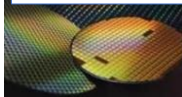
	22/2期 3Q累計	23/2期 1Q	23/2期 2Q	23/2期 3Q	23/2期 3Q累計	前年 同期比	今回予想 に対する 進捗率	通期予想	
								前回予想 (10/14)	今回予想 (1/13)
売上高	436	236	123	153	512	117.4%	69.4%	739	739

グローバルニッチ
マーケット

5G
(アインレータ単結晶)



半導体検査装置
(CW/QCW 213nmレーザ)



放射能汚染モニタ
(GPS単結晶)



医療用ボタン電池
(単結晶個体電池材料)



競争優位性が
期待できる
マスマーケット

MicroLED
(フェムト秒レーザ)



フォトマスク
(描画用レーザ)



レーザ照明
(蛍光体単結晶・デバイス)



パワー半導体
(SiC単結晶/GaN基板用単結晶)



光計測・新領域事業の、第3四半期累計期間における売上高は、5億1,200万円でございます。これは、前年同期比117.4%、今回予想に対し69.4%の進捗となります。

事業別説明【半導体】

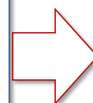
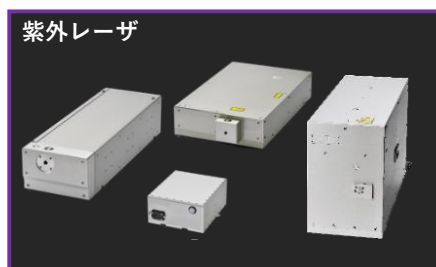
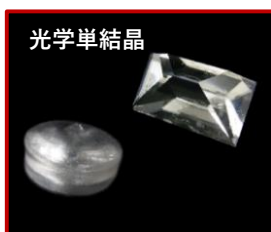
OXIDE

(単位：百万円)

	22/2期 3Q累計	23/2期 1Q	23/2期 2Q	23/2期 3Q	23/2期 3Q累計	前年 同期比	今回予想 に対する 進捗率	通期予想	
								前回予想 (10/14)	今回予想 (1/13)
売上高	1,770	692	952	707	2,352	132.9%	74.0%	3,690	3,181

半導体ウエハ欠陥
検査装置に用いる

当社の製品群

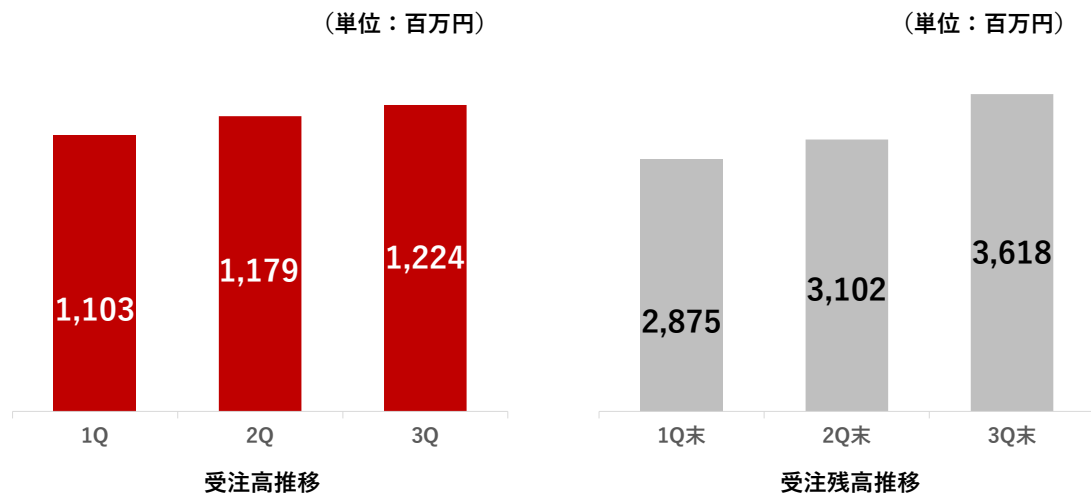


イメージ写真：
半導体ウエハ欠陥検査装置

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

15

半導体事業の、第3四半期累計期間における売上高は、23億5,200万円でございます。
これは、前年同期比132.9%、今回予想に対し74.0%の進捗となります。



レーザー製品の今期受注高と受注残高をご説明します。

昨今、半導体業界の市況が悪化していると一部報道されておりますが、世界的な先端半導体の工場建設の動きと半導体回路線幅の微細化に伴い、先端半導体の製造で使用される当社レーザー装置の受注は引き続き好調です。

第3四半期の受注高は、12億2,400万円となり、第1四半期、第2四半期を上回る受注高となりました。

第3四半期末における受注残高は、36億1,800万円となりました。

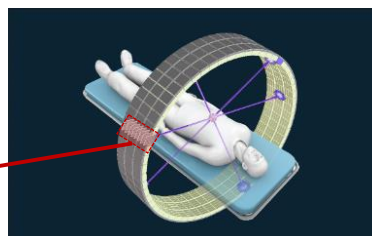
この積み上がった新規レーザー装置の受注残に早急に対処すべく、急遽、横浜事業所内にもクリーンルームを拡張するなど、社内生産能力の増強を進めております。

事業別説明【ヘルスケア】

OXIDE

(単位：百万円)

	22/2期 3Q累計	23/2期 1Q	23/2期 2Q	23/2期 3Q	23/2期 3Q累計	前年 同期比	今回予想 に対する 進捗率	通期予想	
								前回予想 (10/14)	今回予想 (1/13)
売上高	1,366	490	467	598	1,555	113.9%	79.8%	1,910	1,950



PET検査装置のしくみ

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

17

ヘルスケア事業の、第3四半期累計期間における売上高は、15億5,500万円でございます。これは、前年同期比113.9%、今回予想に対し79.8%の進捗となります。

ヘルスケア事業におきましては、通期予想を前回の19億1,000万円から19億5,000万円に引き上げました。

エーザイ株式会社のニュースリリース (2023年1月7日)

- アルツハイマー型認知症の治療薬「レカネマブ」が米国FDAより迅速承認を取得
- 米国におけるフル承認に向けた申請を提出
- 日本と欧州においても、2022年度中の承認申請を行う予定



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

18

ヘルスケア事業のトピックスとしまして、アルツハイマー型認知症の検査に用いられる頭部専用PET装置の動向についてご説明させていただきます。

先日1月6日、FDAは、エーザイとバイオジェンが共同開発するアルツハイマー型認知症の治療薬「レカネマブ」を迅速承認したと発表しました。「レカネマブ」は早期のアルツハイマー型認知症患者に対し、認知機能の低下を抑制できる薬です。エーザイは、日本および欧州においても承認申請する方針を表明しております。

PET装置は、アルツハイマーの原因となるアミロイドベータの蓄積を高精度で検査、画像化することができ、症状が現れる前にアルツハイマー型認知症をとらえることができます。

アルツハイマーの患者数は、2019年時点で5,500万人と発表されています。癌の患者数は約1,400万人ですからアルツハイマーの患者数のほうが多く、その患者数は年々増加すると予測されています。

頭部専用PET装置は、一部市販が始まっております。当社のシンチレータ単結晶は、その高い性能から、既に複数の研究開発機関やメーカーより注文をいただいております。今後のヘルスケア事業の売上拡大に大きく貢献するものと期待しております。

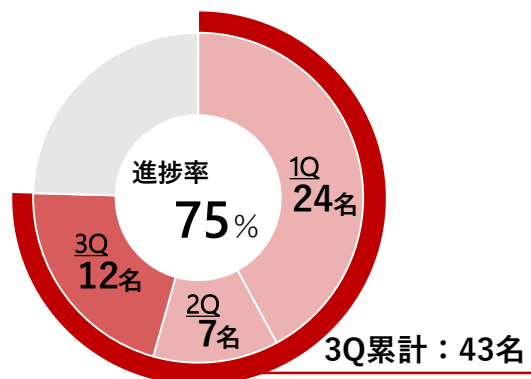
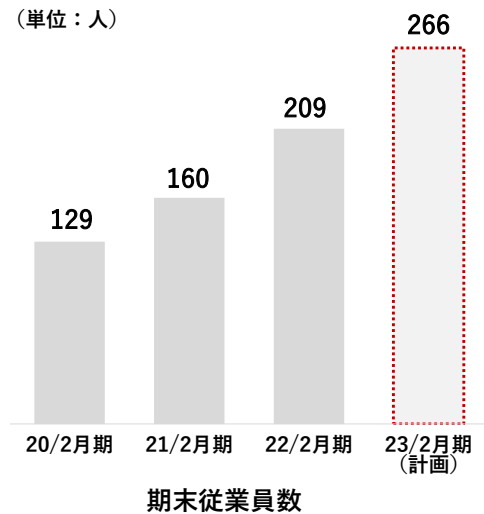
- ・ 業績
- ・ 今期これまでのトピックス
- ・ 事業別説明
- ・ **今期計画に対する進捗**

ここから先は、業績以外の項目における、今期計画に対する進捗についてご説明いたします。

今期計画に対する進捗【人員】

OXIDE

(単位：人)



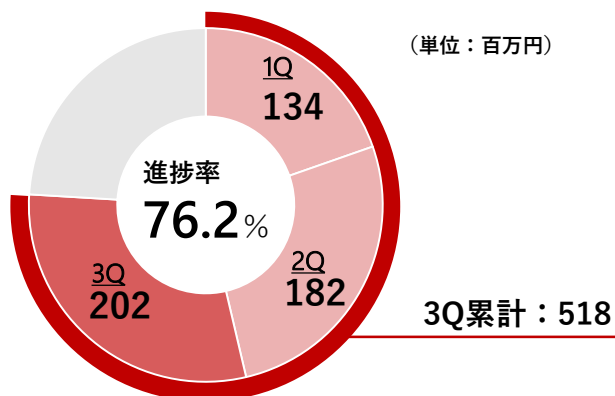
通期計画：57名増

人員計画に対する進捗についてご説明いたします。

第3四半期におきまして、12名の増員となりました。通期計画に対する進捗率は、75%でございます。

今期計画に対する進捗【研究開発費】

OXIDE



通期計画：715百万円 ⇒ 682百万円

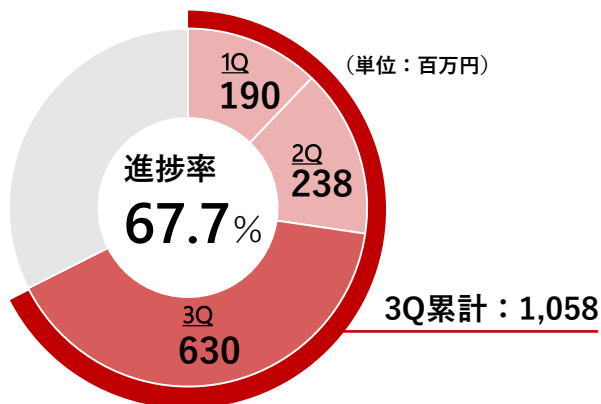
つづきまして、研究開発計画に対する進捗についてご説明いたします。

第3四半期における研究開発費は、2億200万円でございます。既にご説明いたしましたとおり、研究開発費予算を3,300万円減額し、6億8,200万円と修正いたしました。

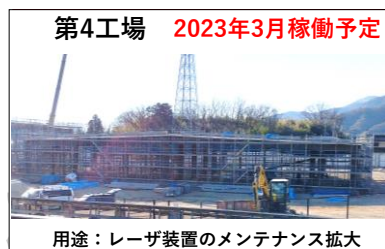
第3四半期累計期間における、今回計画に対する進捗率は76.2%でございます。

今期計画に対する進捗【設備投資費】

OXIDE



通期計画：1,565百万円



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

22

最後に、設備投資について、ご説明いたします。

業績予想の修正に伴う、設備投資費の通期計画に変更はありません。第3四半期における設備投資費は、6億3,000万円でございます。第3四半期累計期間における、通期計画に対する進捗率は、67.7%でございます。

増加するレーザ装置のメンテナンス需要に対応する第4工場の建設、およびSiC単結晶の量産技術開発に向けた第5工場建設は順調に進んでおります。両工場共に今年3月に竣工する見込みです。

OXIDE

<https://www.opt-oxide.com>

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

以上、第3四半期の決算状況をご説明申し上げます。

第3四半期は、半導体事業においてレーザ装置の出荷が遅れ、当社のお客様には多大なるご迷惑をおかけしております。また、通期業績予想の下方修正となりましたことを、深くお詫び申し上げます。

今回のレーザ製造における一部部材の不具合問題を、当社サプライチェーン見直しの契機とし、部材調達体制の強化に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

Appendix

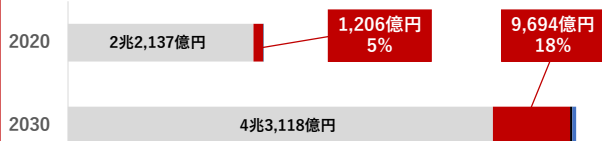
業績動向に影響を及ぼした要因

内的要因 ■ / 外的要因 ■

	1Q	2Q	3Q
半導体事業	■ 前期に投資した増産向け生産設備が稼働	= 1Qの傾向を継続	= 1Qの傾向を継続
	■ 一部調達部材の歩留~50%	= 1Qの傾向を継続	⇒ 一部調達部材の不具合多発歩留10%以下に低下
	■ レーザ製品の生産性向上	= 1Qの傾向を継続	⇒ 作業習熟度は向上も、部材の不具合対応で横ばい
	■ 仕掛品数量・評価額の押上げ	= 高水準で推移	⇒ 不具合発生部材の歩留り低下により生産投入数を増やしたため仕掛品増加、評価額は横ばい
ヘルスケア事業	■ 原材料価格の高騰に伴う在庫評価額の切上げ	⇒ 原材料価格上昇分を販売価格へ転嫁し、収益性を維持	= 2Qの傾向を継続
		= 原材料価格は横ばいで推移	= 2Qの傾向を継続
経費	■ 横浜事業所移転費用の縮減	—	—

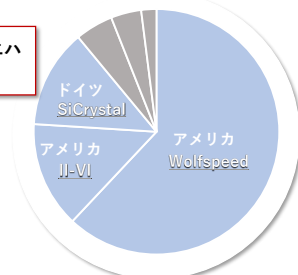
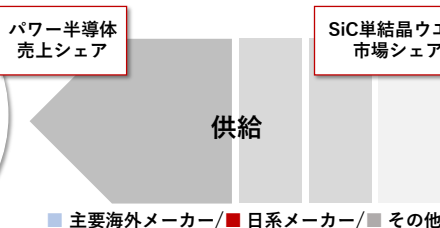
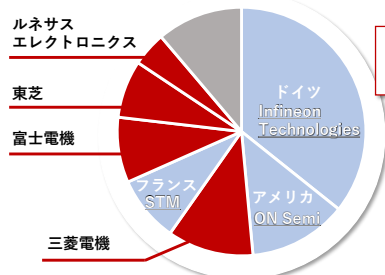
SiC単結晶ウエハ国内生産体制構築の重要性

パワー半導体市場におけるSiC比率



出所：「富士経済パワー半導体市場調査サマリー」を基に当社で作成

■ Si	シリコン単結晶の市場占有率は、日本勢が50%以上を占め、デバイスとともに優位。
■ SiC	デバイスの市場占有率は高いが、単結晶は開発・生産ともに海外に依存。
■ GaN	Bulk結晶製造は日本勢が優位にあるも、デバイスでは劣勢。中国勢の躍進が著しい。
■ Ga ₂ O ₃	結晶開発で日本勢が世界をリードするも、未だデバイスの商用化には至っていない。



SiC単結晶 グリーンイノベーション基金事業(GIF)

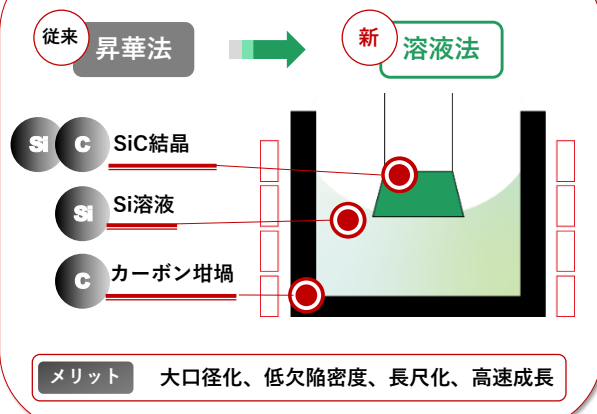
OXIDE

GIF「次世代デジタルインフラの構築」プロジェクト
超高品質・8インチ・低コストSiCウエハ開発



カーボンニュートラルへ向けて加速 結晶新育成法と人工知能(AI)の適用

結晶育成法



AIの適用



半導体

医療

パワー
半導体

結晶と光で社会に貢献する Crystal Miracles by OXIDE

ディスプレイ

自動運転

5G